

「秋名小学校の八月踊り伝承活動の取組」

1 学校名

龍郷町立秋名小学校

2 学年・人数

小学2年生から6年生（計8人）

3 日時・場所

- (1) 練習の日時（場所）平成29年9月13日（水）（本校体育館）
- (2) 発表の日時（場所）平成29年10月1日（日）（本校校庭）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称：八月踊り（はちがつおどり）

(2) 由来

起源は定かではないが、按司の世（約700年前）からあったのではないかとされている。豊かな実りに感謝し、来年の豊作を願う「祝付け」の踊りである。

(3) 構成等

男衆と女衆のそれぞれの「唄出し」と「太鼓（チヂン）」から輪を描く。太鼓（チヂン）を叩くのは、ほとんどが女衆。そのリズムに乗り、男女が島唄を交互に唄いながら八月踊りを踊る。そして、八月踊りの最後は、六調（ろくちょう）で締めくくる。

5 保存会や地域との連携の具体

運動会で発表の場を設定し、秋名っ子タイム（総合的な学習の時間）で練習を行っている。秋名・幾里，嘉渡が輪番制で担当し，老人会を中心とした集落の方々の指導の下，島唄と八月踊りを伝承している。運動会では，生徒・職員・保護者・地域の方々が，みんなで輪になって唄い，踊っている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が連携・協力しながら八月踊りを伝承していくために，学校（担当）と地域（老人会長）の連絡を密に行っている。また，学校で八月踊りを発表（運動会）するだけでなく，地域で行われる「種下ろし」にも，積極的に参加している。

7 取組の様子



【秋名っ子タイムの練習】



【運動会における発表】



【種下ろしの様子】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

- れんしゅうのときはむずかしいと思ったけれど、地いきの方々に教えていただいて、みんなで楽しくおどることができました。(児童)
- 上手に踊っている我が子にビックリしました。転入から、驚くことばかりです。皆さまのおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。(保護者)
- 毎年子どもたちと踊れるのがとても楽しみです。ぜひ、続けていきましょう。(地域の方)
- 地域の皆さまの協力あつての活動だと感謝しています。(職員)